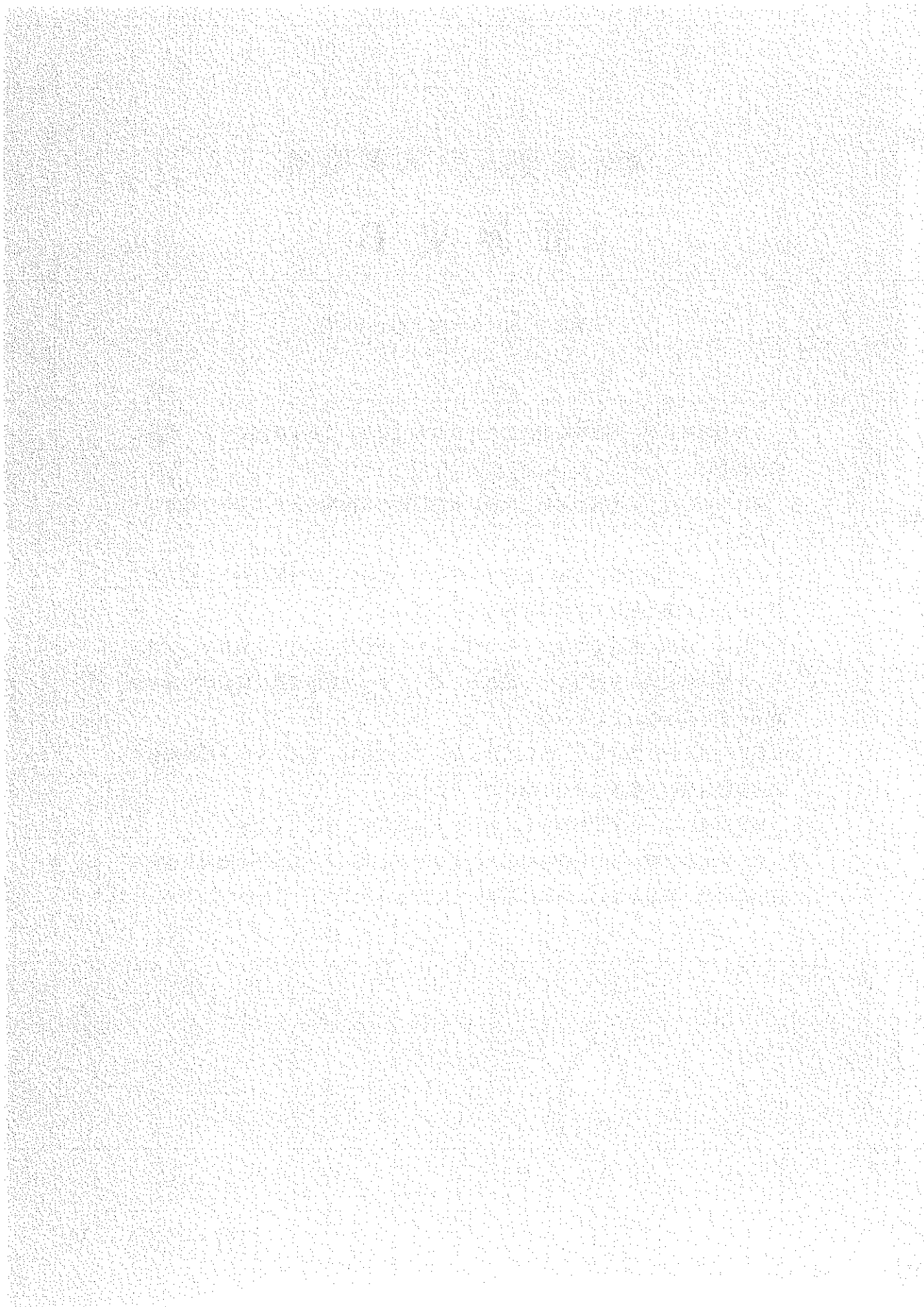


2018 年度 入学 試験 問題

世界史 B

(試験時間 10:30~11:30 60分)

1. この問題冊子が、出願時に選択した科目のものであることを確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙には、記述解答用紙とマーク解答用紙の2種類がありますので注意してください。
3. 解答は、必ず解答欄に記入およびマークしてください。解答欄以外への記入およびマークは無効となりますので注意してください。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。特に、マーク解答用紙には鉛筆のあとや消しくずを残さないでください。
5. 解答用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください。また、マーク解答用紙を記述解答用紙の下敷きを使用しないでください。
6. 解答用紙には、必ず受験番号と氏名を記入およびマークしてください。
7. マーク解答用紙への受験番号の記入およびマークは、コンピュータ処理上非常に重要なので、誤記のないよう特に注意してください。



I 以下の文章を読み、空欄A～Pに入る最も適切な語句を記述解答用紙に記入し、設問に答えなさい。ただし、同じ記号には同じ語句が入る。(50点)

感染症の歴史の中でも、14世紀に、アジアからヨーロッパにかけて大流行したペストは、後の世に多大の影響を与え、封建社会の変質をもたらした。ヨーロッパでは、10世紀以降、温暖化が進み、森林が切り開かれて、畑や牧地になると、従来から森林に棲息していたフクロウが減少し、天敵がいなくなったので、クマネズミが繁殖して、病原菌が拡散した。このような森林の開発に積極的に関わったのが、各地の修道院であった。中でも、聖ベネディクトゥスが、6世紀にイタリアの(A)で開いた修道院は、「祈れ、働け」という標語を掲げて、それまでのヨーロッパ人の労働観とは異なる見方を示した。古代ギリシャ^①において、ポリスでは厳格な階級制が敷かれていて、自由人たる市民は労働^②などせず、生産活動などの労働は奴隷が行うべきであったからである。

また、ヒトと物資の移動が急激に増加して、活発な生産活動が展開されたことが、ペストの広がり^③の背景となっていた。商業活動に加えて、ヨーロッパ世界の拡大のための対外的な拡張活動も盛んになった。これらの拡張活動は、往々にして強力な軍事力が伴っていた。

11世紀末に、教皇の呼びかけによる十字軍^④があり、パレスティナからの十字軍の帰還船が、クマネズミを運び、その結果としてペストをヨーロッパに持ち込んだ。その後^⑤に繰り返された十字軍でもクマネズミをペスト菌と一緒に船でヨーロッパに持ち帰っていた。

12世紀から15世紀にかけて、ドイツ人の武装勢力が中心となって、東方植民活動と呼ばれる(B)川以東のスラブ人居住地域への遠征が行われた。12世紀に、その一環として、(C)辺境伯領が成立した。また、12世紀末に、十字軍による地中海東岸への遠征において、アッコ^⑥ンにおいて聖地保護のための騎士団として、ドイツ騎士団が結成され、遠征終了後、東方植民に参加して、バルト海沿岸地域を開拓して、ドイツ騎士団領を形成した。後にプロイセン王国の礎となった。

さらに、イスラーム教徒によって占領されたイベリア半島を取り戻そうとする活動も、イスラーム教徒の占拠後から始まり、カスティリア、アラゴンなどのキリスト教

諸国によって、徐々に北から南に向けて、キリスト教勢力を拡大していった。この運動は、1492年、イスラーム側の最後の根拠地である（D）を奪回して、完成した。

また、ペストが14世紀にヨーロッパ全体に拡大したのは、12世紀から始まるモンゴル族の拡張活動によって、最終的にモンゴル帝国が建設され、ユーラシア大陸の東西を結ぶ交易が盛んになったことも背景にある。帝国内の治安が保たれ、（E）と呼ばれる駅伝制度など通信網の発達が格段に進んだことで、広い範囲での貿易や旅行が以前よりも容易になった。そして、14世紀にモンゴル軍の大移動が引き金となって、全ヨーロッパにまたがるこの病気の大流行が発生した。（F）に率いられたモンゴル軍は、破竹の勢いで遥か東方のモンゴルからヨーロッパに到達し、1241年にはポーランドでの（G）の戦いやハンガリーでのオーフェンの戦いを行うほどヨーロッパに深く侵攻した。1243年にはウクライナ、ロシアから中央アジア北部にかけて（H）汗国を、また、1258年には中東から中央アジア南部にかけてイル汗国を建国している。このモンゴル軍の東西の移動や、それに続くモンゴル帝国支配下でのユーラシア大陸東西の交易が盛んになったことが、この大流行の背景にある。

ヨーロッパ各地で開発が進み、経済が発展してくると、各地の特産品も生まれ、交易の対象となった。当時、ヴェネツィア、ジェノヴァ、ピサなどの北イタリア諸都市は、南ドイツの銀、毛織物、スラヴ人奴隷などを対価とし、アジアの香辛料、絹織物、宝石などの取引で富を獲得していた。これを遠隔地貿易という。こうしたイスラームとヨーロッパの交易の中心となっていたのは、インド洋、紅海、地中海を結ぶエジプトのアレクサンドリアであり、当時は（I）朝が支配していた。ペストは、ヨーロッパへと感染が広がると同じ頃に、貿易で栄える地中海の商業網に沿って、イスラーム世界にも広がった。このペストの大流行が（I）朝を衰退へと向かわせる一因となった。

当時のヨーロッパは百年戦争④の最中であつたが、この病気はイングランド、フランス両国にも伝染し、戦局に大きな影響を与えた。この戦争の終盤に、フランス国王シャルル7世が（J）で包囲される事態に至つたが、（K）によって危機を救われ、以後フランスが優勢のうちに戦争は終結に向つた。両国においては、ともに百年戦争によって封建領主が没落する一方で、中産階級が台頭し、王権が伸張した

結果、中央集権国家へと脱皮していった。

ペストによる農村の荒廃が進み、領主の抑圧に対する農奴層の反抗が激しくなる一方で、封建貴族層の軍事的な治安維持力が低下したために、農民たちによる反乱があいついで起きた。フランスでは、1358年に（ L ）の乱、イングランドでは、1381年に（ M ）の乱が起きた。ペストの大流行による人口の激減は、生き残った農民の待遇を良くすることとなり、農民反乱とあいまって、農奴解放がさらに進むこととなった。

文学作品として、『（ N ）』が、この感染症のフィレンツェにおける流行の様子をくわしく描いている。

もちろん、ペストを祈祷で防げるはずもなく、キリスト教教会は、ペストの猛威に対して無力であった。それゆえ、人々は正統的な教会に対して非常に失望し、教会の権威が大いに揺らぐことになった。この疫病がヨーロッパに到達した数か月ののち、ローマ教皇クレメンス6世が、当時のカトリック教会の総本山のあった（ O ）から逃亡したことも、その失望に拍車をかけた。しかし、教会に対する幻滅が生じると同時に、個人的に神と向き合うという信仰的な態度がかえって深まり、やがて宗教改革^⑤へとつながっていった。

当時、病原体は未発見であったので、本当の原因は突き止められていなかったが、検疫などが実施されて、公衆衛生学的にはそれなりの進歩が見られた。しかし、ヨーロッパ人が感染症の恐怖から解放されるのは、19世紀半ばに、パリ都市改造などで、大都会で上下水道が行き渡って、公衆衛生が大幅に改善されたうえに、フランスのパスツールや、ドイツの（ P ）などによって、細菌学が長足の進歩を遂げるようになってからである。

問1 下線部①について、ギリシャ人は、異民族と対比して、自分たちを何と呼んだか。それを記述解答用紙に書きなさい。

問2 下線部②について、スパルタにおいて、「奴隸」を何と呼んだか。それを記述解答用紙に書きなさい。

問3 下線部③について、誤っているものを1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. 聖地イェルサレムを支配下に置いたファーティマ朝は、ビザンツ帝国も脅かしたので、ビザンツ皇帝は、教皇に救援を要請した。
- イ. 教皇ウルバヌス2世は、1095年にクレルモン宗教会議を招集し、聖地回復の聖戦を起こすことを提唱した。
- ウ. 1096年、第1回十字軍が出発し、1099年、イェルサレムを占領して、イェルサレム王国を立てた。
- エ. 1189年、アイユーブ朝のサラディンに奪われたイェルサレムを奪回するために、神聖ローマ皇帝・フランス国王・イングランド国王が参加して、第3回十字軍が起こされた。
- オ. 第4回十字軍では、コンスタンティノーブルを占領し、ラテン帝国を立てた。

問4 下線部④について、その戦争の原因について、以下の語句をすべて用いて、記述解答用紙に120字以内で説明しなさい。なお、用いた語句には下線を引きなさい。

エドワード3世、カペー、ノルマン、フランドル

問5 下線部⑤について、誤っているものを1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. 1517年、マルティン=ルターは、魂の救いは福音信仰にのみよるとの考えから、九十五カ条の論題を発表した。
- イ. 教皇レオ10世は、教会の資金調達のために、贖宥状を売り出していた。
- ウ. ミュンツァーは、ドイツ農民戦争を指導して、処刑された。
- エ. 旧教徒と新教徒の争いの結果、ヴォルムスの和議が成立した。
- オ. カルヴァンは、ジュネーヴで宗教改革を実行した。

Ⅱ 以下の文章を読み、空欄A～Jに入る最も適切な語句を記述解答用紙に記入し、設問に答えなさい。(50点)

普通選挙とは主に国政レベルでの財産制限のない選挙制度のことを指し、フランス革命中の1792年にはじめて実施された。当時は、男性のみに限定されていたが、19世紀には欧米諸国で一般化する。

フランス革命が進行するなか、1792年に8月10日事件が起こり、その翌日、議会で男性普通選挙が決定され、9月に実施される。これによって成立した(A)は、^①王政を廃止して共和制を樹立し、翌年にはルイ16世が処刑された。この間に台頭した山岳派は、内外の危機に対応するために様々な施策を講じるとともに、反対派を多数処刑する恐怖政治を行った。1794年のクーデターにより穏健共和派による(B)が樹立された。

ナポレオン没落後の復古王政下では有権者をごく少数に限る立憲君主制がしかれていたが、1830年にシャルル10世が七月勅令によって、選挙で成立した議会の解散、選挙権の大幅な制限、言論と出版との統制を打ち出すと、パリの民衆は蜂起し、シャルル10世は国を追われた。七月王政の下でも、極端な制限選挙がとられていたため、中小資本家や労働者の不満は強く、1848年2月に選挙法改正の要求が退けられたのを機に再び革命が起こると、国王(C)は亡命し、共和制の臨時政府が樹立された。^②4月の男性普通選挙により穏健共和派の政府が成立し、12月の大統領選挙ではナポレオン1世の甥であるルイ=ナポレオンが当選した。

議会制の母国ともいわれるイギリスにおいても、議会制民主主義が定着するまでには歴史上数々の試練があった。イギリスの議会制度の歴史は古く、1265年には、以前からあった高位聖職者・大貴族の会議に州や都市の代表を加えて国政に関する協議がなされ、その後イギリスの議会制はしだいに形を整えていった。^③1689年には権利章典が制定され、これにより議会主権に基づく立憲君主制が確立された。18世紀前半に(D)が首相となり、その後、内閣は国王に対してではなく議会に責任を負う、という責任内閣制が確立した。

18世紀後半におこった産業革命による社会の変化に対応して、1832年に第1回選

挙法改正がおこなわれ、これにより新興の産業資本家などの中産階層が参政権を得た。しかし、急進的な改革を要求する労働者は、6か条からなる人民憲章をかかげて政治運動をおこなった。これをチャーティスト運動という。

この頃には、自由党・保守党の両党が交代して政権を担当する議会政治が成立した。1837年に即位したヴィクトリア女王の時代には、ディズレーリやグラッドストーンなどの大政治家がでて、重要な改革が政党内閣によって実現した。1867年の第2回選挙法改正では、都市労働者の多数が選挙権を獲得し、1884年の第3回選挙法改正では農業労働者も選挙権を得た。また1890年代になると、社会主義者の集まりであるフェビアン協会に社会主義団体や労働組合から、労働者独自の政党をつくろうとする気運が高まり、1906年以後労働党になった。

1918年、(E)の挙国一致内閣のもとで第4回選挙法改正がなされ、民主主義の基礎が広がった。労働党は、この時期に、マクドナルドのもとで保守党に次ぐ第2党の地位に上昇し、1929年の選挙でははじめて第1党となった。

連邦制と大統領制を基礎とするアメリカ合衆国の民主政は、建国以来の歴史のなかで変遷を遂げてきた。アメリカは東部海岸地帯の13植民地のゆるやかな連合体として独立したが、1787年に制定された憲法は、各州に大幅な自治を認めながらも、中央政府に比較的強い権限を与える連邦主義を採用していた。これに対し、ジェファソンら反連邦派は州の権限強化を主張して対立した。しかしこうした立場の違いにもかかわらず、当時の政治指導者のほとんどは東部社会の名門の出身で、大衆の政治参加に否定的であった。

西部生まれで独立独行の政治家 (F) が第7代大統領に選ばれてから、アメリカの民主政は新たな時代を迎える。産業革命と西部開拓が進展するなか、自営農民を中心とする広範な中産階級がアメリカ社会に活気をもたらし、労働組合運動、信仰復興運動、奴隷制廃止運動などの民衆運動も高まった。こうした変化を背景に1830年代、政治参加の拡大が実現し、増大した有権者を組織するために政党政治が活発化した。しかし一方、西部開拓の過程で征服の対象となったインディアン(先住民)や、奴隷労働者として南部社会を支えていた黒人は、政治から排除されていた。南北戦争後、憲法修正によって奴隷制は廃止され、黒人にも投票権が認められたが、差別は

様々な形で続いた。

さらに20世紀に入ると、アメリカの民主政は女性やマイノリティも含む普遍的なものへと拡大していく。この頃アメリカは一大好況期を迎え、自動車、家庭電化製品、映画、スポーツなどに代表される現代大衆文化が花開いた。第二次世界大戦後も続いたこの繁栄の陰で黒人は依然として差別を受けていたが、1954年には公立学校での人種隔離を違憲とする（ G ）判決が下され黒人のあいだで、平等な公民権を求め^⑦る運動が広がった。

ドイツは1848年の三月革命によって各邦に自由主義政府が成立して憲法の制定が約束された。また、ドイツ統一のための（ H ）国民議会が、ドイツ最初の男性普通選挙によって選出された議員によって開催された。しかし、ドイツ統一はすぐには実現せず、立憲君主制をとった統一憲法案も立ち消えとなった。その後各邦とも自由主義が後退して、オーストリアでは憲法が廃止され、プロイセン王国では1850年に保守的な欽定憲法に改訂された。このプロイセン憲法では選挙権は全男性国民に与えられ、一見普通選挙の形態をとっているが、実際には三級選挙制という著しい不平等選挙制であった。

プロイセンの政府・軍部を支配する保守的な貴族層の出身である（ I ）は、1862年、プロイセン国王から首相に任命されると、工業化を推進するとともに、話し合いや民主主義的方法ではドイツの統一は実現できないとし、議会を無視して軍備を拡張し、武力による統一をめざした。^⑧

プロイセンは（ J ）の勝利でドイツ統一の主導権を握り、さらに普仏戦争の勝利によって1871年にドイツ帝国を成立させたが、ドイツ帝国憲法では、帝国議会の議員選挙にドイツではじめて全国的な男性普通選挙を導入した。これは画期的なこと^⑨であったが、帝国議会そのものに決定権がないなど、完全な議会政治とは言えないものであった。またプロイセンでは第一次世界大戦の終結する1918年に廃止されるまで三級選挙制が存続していた。大戦で敗戦が必至となる中、1918年末に選挙法の改正が行われ、満20歳以上の男女による財産制限のない平等で秘密投票による完全な普通選挙制度が決められ、その選挙によって成立したヴァイマル議会で同様の普通選挙を規定したヴァイマル憲法が成立した。

問1 下線部①について、結局施行されることはなかったが、はじめて男性普通選挙制を定めたフランスの憲法を1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. 1791年憲法
- イ. 1793年憲法
- ウ. 1795年憲法
- エ. 1799年憲法

問2 下線部②について、社会主義者・労働者の代表として参加した人物の名を1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. プルードン
- イ. サン=シモン
- ウ. フーリエ
- エ. ルイ=ブラン

問3 下線部③について、1295年には、聖職者・貴族のほか、各州2名の騎士、各都市2名の市民で構成された身分制議会である模範議会が招集された。この議会を開催した人物の名を1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. ウィリアム1世
- イ. ヘンリ3世
- ウ. エドワード1世
- エ. エドワード3世

問4 下線部④の運動の中で、1839年に議会に提出された人民憲章の内容として誤っているものを1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. 無記名秘密投票
- イ. 議員有給制
- ウ. 議会の2年毎の改選
- エ. 議員の財産資格廃止

問5 下線部⑤について、13植民地でないものを1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. ニューヨーク
- イ. コネティカット
- ウ. サウスカロライナ
- エ. フロリダ

問6 下線部⑥について、西部開拓によって生まれた新しい州に対し、北緯36度30分以北には奴隷州をつくらないと定めたものを1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. ミズーリ協定
- イ. カンザス・ネブラスカ法
- ウ. ホームステッド法
- エ. ワシントン協定

問7 下線部⑦に関する説明として誤っているものを1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. ベトナム戦争への反戦運動と結合する形で展開した。
- イ. ジョンソン大統領は差別と貧困のない「新しい自由」の実現をとなえた。
- ウ. 1964年に公民権法が成立した。
- エ. 人種差別撤廃運動を推進したキング牧師は1968年に暗殺された。

問8 下線部⑧のプロイセン国王は誰か。以下の中から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. フリードリヒ=ヴィルヘルム1世
- イ. フリードリヒ2世
- ウ. ヴィルヘルム1世
- エ. ヴィルヘルム2世

問9 下線部⑨に関する説明として正しいものを1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. 帝国宰相は議会に責任を負った。
- イ. 連邦制をとり、プロイセン国王が皇帝位を兼ねた。
- ウ. 帝国議会による一院制の議会がおかれた。
- エ. 帝国再編のためにアウスグライヒがおこなわれた。

問10 アメリカ、イギリス、フランスで、国政レベルでの女性参政権が導入された順番を以下から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ア. アメリカ、イギリス、フランス
- イ. アメリカ、フランス、イギリス
- ウ. イギリス、アメリカ、フランス
- エ. イギリス、フランス、アメリカ
- オ. フランス、アメリカ、イギリス
- カ. フランス、イギリス、アメリカ

問11 南北戦争後のアメリカ合衆国南部における解放された黒人の経済的地位はどのようなものであったか、記述解答用紙に70字以内で説明しなさい。

問12 世界恐慌後、ドイツにおいてヴァイマル民主政が崩壊した理由を、ヴァイマル憲法の規定との関連で、記述解答用紙に70字以内で説明しなさい。

.....

..

.....

..)

